

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	東海鉄工株式会社
<p>2 貴社の取組状況について</p> <p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 社員一人ひとりが安心して仕事と家庭を両立できる職場づくりを提供したいとの思いから女性だけでなく、男性も積極的に育児休業制度を活用してほしいことから取り組んだ。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 就業規則や関連規程の改訂、対象社員に対して個別の制度説明等を行った。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 男性社員の育児休業は、業務調整や収入減少等の不安により取得を躊躇する傾向が強いことが課題である為、育児休業制度の説明、休業中も安心して働けるよう職場調整を行うことで、不安感を軽減することができた。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 業務に欠員が出る為、事前にスケジュールを立てて、上司や他の課員で助け合い業務に支障がないようにした。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください もっと育児休業が取得しやすい環境づくりのための制度を周知し相談しやすい環境を作る。</p>	

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 19日間
<p>2 育児休業の取得について</p> <p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 3人目であり、里帰りせずに出産するため妻が入院中、出産後長男長女の育児を行う必要があったため。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 仕事のことを気にせず育児に専念することができ、中々やることができていなかった保育園への送迎や家事などを行うことができた。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 育休中に業務の初期検討を依頼し、復帰後検討内容を引き継いでもらうことでスムーズに復帰することができた。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 育休中は想像よりも時間に追われ育児と家庭のことを両立する必要があり、業務に対しても各業務の優先度への考え方や時間の使い方を身につけることができた。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 育休を取得すると育児や家庭に専念できる機会を得られるため積極的に取得すると良いと思います。中々時間に追われ大変なのでパートナーの苦労も理解することができると思います。</p>	